

左麻痺の

衣服の着脱に挑戦

5月23日（金）に、福祉コース2年は、介護福祉士の牧野さんに片麻痺の衣服の着脱について学びました。衣服の着脱には、負担をかけないために「脱健着患の原則」が大切で、患側から着る、患側でない方から脱ぐことが重要だと教えてもらいました。さらに、私たちは、サポーターを付けて左麻痺がある場合の衣服の着脱に挑戦し、介助者の立場も実際に体験しました。



＜感想＞

- ・麻痺側の腕は自分で自由に動かせないため、片手で服を引っ張ったり、腕を通したりする動作が難しく感じました。
- ・介助者の立場から声掛けを行うことで、相手に安心感を与え、スムーズな支援につながる事が分かりました。また、介護では「少しお手伝いしますね」など、相手に寄り添った言葉が信頼を築くために重要だと思いました。